

自動合成装置「OptimFlow」

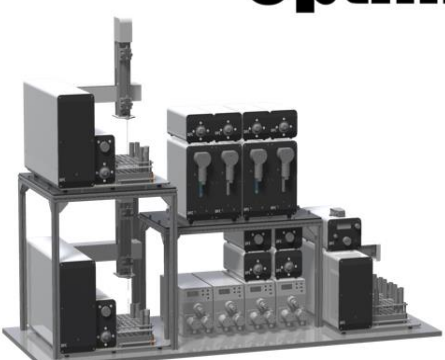
(株式会社 DFC) 松本 一希

キーワード: 自動合成装置, フローケミストリー, 少量多検体, ハイスループット, シード探索

自動合成装置

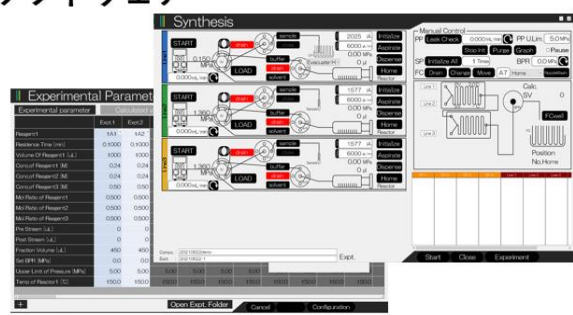
OptimFlow

装置



※4Line CCBB構成の場合

ソフトウェア



特徴

- ・ 計算不要で自動合成が可能
- ・ 最大4流路・3段階反応まで構成が可能
- ・ HPLCなども連携可能
- ・ 現在、機械学習が生成した実験条件の自動実行機能を実装予定

仕様

PP流速設定範囲 0.01~9.999ml/min
試薬最小使用量 200μL~
シリッジ-Loop容量 2.5ml-1ml, 12.5ml-5ml
ABPR設定範囲 0.1~1.5MPa
LH セット可能数 24well(標準)
FC セット可能数 72本(標準)

今後の展開や利用

前処理や後処理のデバイスを開発しており、OptimFlow をプラットフォームとしてラボオートメーションを加速させます。さらに自動的に分析した結果を機械学習にインポートさせて合成条件の最適化の自動化も実現可能です。

メッセージ

- ・ 装置開発に関する相談を受け付けております。ご興味のある方は是非ブースにお越し下さい。
- ・ 展示ブースで実際の装置をご覧いただけます、デモ機の貸し出しも受け付けております。